

平成 29 年 10 月吉日

会 員 各 位

公益社団法人 高知県理学療法士協会
担当理事 日野 工
保健部 部長 木下 雄介

高知県理学療法士協会保健部研修会のご案内

拝啓 盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は保健部の活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

保健部では、各種スポーツ場面における身体トラブルに対応するフィジカルサポーターの養成研修を開催しています。

本年度は、各種障がい者スポーツ大会、高知龍馬マラソン、高知県家庭婦人バスケットボール連盟等の主催者から理学療法士サポーターの派遣要請があり、多数の会員にご協力いただきたいと考えております。対応するための人材育成としています。

今年度は2回のテーピング研修会を予定し、2～3月頃にテーピング認定試験を開催予定としております。又、認定試験までは受ける予定のない先生方も受講可能ですので、興味ある方、会員多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

敬具

開催要項

日 時：平成 29 年 12 月 17 日（日） 10：00 ～ 15：00（タイムテーブル参照）
（受付 9：40～）

会 場：高知リハビリテーション学院 3階運動療法室

テーマ：キネシオテーピング®

講 師：田中 務
国際 KT 研究所
理学療法士

定 員：先着 30 名 参加費 1000 円（材料費：キネシオテーピング®）

上下肢（肩、肘、膝、足関節）が露出できる服装とハサミ、タオルをご準備ください。

申込み先：

高知県理学療法士協会保健部 e-mail アドレス kpta.hokenbu@gmail.com

必要記入事項：①氏名（フリガナ）②生年月日③経験年数④会員番号⑤所属

⑥e-mail アドレス⑦認定試験の受講希望（あり・なし）

問い合わせ先：えだしげ整形外科リハビリテーション科 TEL088-871-2366 木下雄介・宮川 紘

キネシオテーピング®講習会では、K T A I（Kinesio Taping Association International）本部のアメリカで開催されている医療系ライセンス取得者対象講座に基づいたキネシオテーピング法の概念、開発の経緯、テーピングの効果、各種検査法などについての講義と体幹部、及び上下肢の代表的なキネシオテーピング®を中心に講習します。

※KT=キネシオテーピング®

キネシオテーピング®講習会タイムスケジュール (予定)

時間	講習内容	参考資料など	備考
9:40~ 受付開始	教本の内容確認をお願い致します。	上肢&下肢にテーピングジェルを使用し 実技準備をしてください。	会場
10:00 ~11:00	KT 講義	KT 協会公認講座テキスト	講義
11:00 ~11:30	体幹部障害と KT (I-strip Application KT®)	体幹部筋に対する KT、脊椎関節に対する KT など	実習
11:30 ~12:00	肩部障害と KT (Y-strip Application KT®)	肩周囲筋に対する KT、及びコンビネーシ ョン KT など	実習
12:00 ~13:00	昼休み		
13:00 ~13:40	膝部障害と KT (Exceptional Y-strip Application KT®)	膝周囲筋に対する KT、及びコンビネーシ ョン KT など	実習
13:40 ~14:20	足部障害と KT (Exceptional Y-strip Application KT®)	足関節周囲筋に対する KT など	実習
14:20 ~15:00	質疑応答		
15:00	終了		

※KT=キネシオテーピング®

Kinesio Taping Association 公認プログラム&テクニク

※平成 29 年度分までの会費未納・休会中会員は、受講できません。

平成 29 年度 保健部研修計画

- ①平成 29 年 10 月 15 日(日) 議題:アスレティックテーピング 講師:山田 義久 先生
- ②平成 29 年 12 月 17 日(日) 議題:キネシオテーピング 講師:田中 務 先生
- ③平成 30 年 1 月中の(日)予定 議題:救急法基礎講習 講師:日本赤十字高知県支部
- ④平成 30 年 2~3 月 の(日)予定 テーピング認定試験

平成 30 年 2~3 月予定 テーピング認定試験受講資格

アスレティックテーピング、キネシオテーピングの研修会に各 1 回以上参加することを認定試験受講資格とします。(過去 2 年間の受講も含む)

認定資格のメリット

認定を受けた先生方には、理学療法士派遣要請のあった事業で優先的に声をかけさせていただきます。スポーツ現場ではテーピング技術は重要ではありますが、それだけでなく様々な知識を必要とします。これをきっかけにスポーツ現場で学びながら様々な経験をしてみませんか?